

※左記の商品は弊社では販売しておりません。書店でお求めください。

一盤をどうぞ
ミネルヴァ工房
千支堂著
二二〇〇円

かの千利休より続く茶道裏千家十五代家元を務め、数え年九十九を迎えた著者が、大正から令和の現在まで、お茶と共に歩来た半生を渾身の筆致で綴った。先の大戦では出征するも、特攻寸前で生還。己を一度死んだ身と断じ、両親の教えや高僧・後藤瑞巖老師の下での参禅、世界の要人と交流を進め、茶人の境涯を深めてゆく。相手が誰であらうと、「盤」を敷き、互いに精神を駆け合わせる心。その先にある平和こそ著者の祈りであり、次代へのメッセージと言えよう。果てなき「道」を歩み続ける人の言葉に胸を打たれる。



機嫌よくいれば、だいたいのことはいま、いい。
かんき出版
鈴木秀子著
一四三〇円

シスターとしてこれまで五十万人の悩みに耳を傾け、八十九歳を迎える著者が、いま最も大切に思っていることがある。それは「上機嫌である」こと。そして、それこそが最もシンプルな幸せのコツなのだという。著者がいう上機嫌とは、「心穏やかに生きる」ことである。本書は日々の心の持ち方から死との向き合い方まで、上機嫌で生きるための三十七のヒントを紹介。六十歳を人生の折り返しと捉える著者の助言は、老齡の人にも力を与えるだろう。感謝と奉仕に生きる著者が伝える知恵を、よき人生の指針としたい。



盤理語を読む
横田南翠著
二四二〇円
春秋社

江戸時代、禅の世界では高度な漢文のやりとりが主流だった中、初めて大衆にも分かりやすい日本語で教えを説いた禅師・盤理。本誌でもお馴染みの著者が、盤理のゆったりとした語り口そのままに、遺された語録を一般に向けて紐解いた。盤理は苦行の末に二十六歳で天悟した後、仏心は生じることと戒することもないという「不生の仏心」を生涯を懸けて一筋に伝えた。人は皆、仏心を備えて生まれてくる。あるがままでよいのだ、と繰り返す師の深いなる自己肯定の教えは、いまを生きる私たちに深い安らぎを与えてくれる。



緒方竹虎と日本のインテリジェンス
P.H.P.新書
江崎道朗著
二二〇〇円

日本を取り巻く国際情勢は、近年ひととき危険さを増している。国防・安全保障の観点からも、情報の収集・分析、いわゆるインテリジェンスの重要性がますます高まっている。本書では、この分野の専門家である著者が、かつて日本版CIAの設立を通じ、独自の情報機関創設に挑んだ緒方竹虎の人生を、戦前戦中の日本の歩みと共に詳述する。先の大戦で情報を生かせず大敗を喫し、いまもインテリジェンスで他国に後れを取る日本。国の活路を懸命に模索した緒方の叱咤が聞こえてくるようである。



SNS×メディアPR
100の法則
笹本節乃著
日本能率協会マネジメントセンター
一六五〇円

五年連続講師の人物PR講座を実施する著者が、メディアPRの手法を凝縮した。「時代にマッチしたPRスキルを身につけること」で、どんな会社でもほとんど経費をかけずに未来を変えていくことができる」と著者。本書で注目すべきは、売り上げを増大させる手法を夢物語で終わらせず、具体例を用いて地道な努力の必要性を説いている点だ。広告とPRの違いといった基礎知識からSNS活用の実践に至るまで、著者自身の実体験や四千人以上の指導経験から生み出した百の法則を学び、SNS時代を生き抜く術を掴みたい。



(価格はすべて税込)

知致

WBA世界ミドル級スーパー王者
村田諒太 &
AthReebo社長
金沢景敏

オーボングエータン
オートンシエフ
河田勝彦 &
オートドール
オートシエフ
斉須政雄



特集
努力にまさる
天才なし